

| | | | | | |
|-------|--------------|-----|-------|-----|-------|
| 事務事業名 | 自治公民館建設等助成事業 | 所属部 | 教育委員会 | 所属課 | 生涯学習課 |
|-------|--------------|-----|-------|-----|-------|

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

| | | |
|-----------------|--|---|
| 目的 妥当性 評価 | ① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事業によって、地域公民館施設が整備され、地域の生涯学習活動の振興につながるため、政策と結びつくから。 |
| | ② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ | <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 旧町間に相当の格差があったため、合併時に旧合志町の制度に合わせたが、逆に言えば旧西合志町の制度でも従来やってきた事でもあり、地域公民館に対する公的助成のレベルは議論されるべきであるから。 |
| | ③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 事業の対象は地域の公民館であり、市が意図する地域の振興にかなうので適切であるから。 |
| 有効性 評価 | ④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 地域公民館の数は78館あり、それぞれの施設での状況は異なるが、経年とともに改修や整備の予定は尽きることはなく、一方で成果が上がっても片方では改修の必要が常に待っているため、事業は限りない繰り返しとなるから。 |
| | ⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ | <input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 それぞれの地域公民館は、すべて地域独自の費用負担で整備改修を行わなくてはならないので、費用負担能力の多寡によって施設設備等の格差が広がって、地域での生涯学習活動にも格差を生じるから。 |
| | ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地域公民館=地域ととらえ、バラバラに交付している各種の助成金を整理統合すべきであるから。 |
| 効率性 評価 | ⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、建設費補助金の助成率が経費の3分の1、用地取得及び備品購入が経費の5分の4となっているが、地元負担と公費負担の割合を見直せば、事業費は削減可能であるから。 |
| | ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しいから。 |
| | ⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 現在、建設費補助金の助成率が経費の3分の1、用地取得及び備品購入が経費の5分の4となっているが、地元負担と公費負担の割合を見直せば、事業費は削減可能であるから。 |

3 評価結果の総括(SEE)

| | |
|--|---|
| (1) 1次評価者としての評価結果 | (2) 全体総括(振り返り、反省点) |
| ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり | ② 有効性については、地域公民館の数は78館あり、経年とともに改修や整備の予定は尽きることはなく、一方で成果が上がっても片方では改修の必要が常に待っているため、事業は限りない繰り返しとなる。 ③④ 効率・公平性については、建設費補助金の助成率が経費の3分の1、用地取得及び備品購入が経費の5分の4となっているが、地元負担と公費負担の割合を見直せば、事業費は削減可能である。 |

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|---|--|--|----|--|--|--|--|----|--|--|--|
| (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 | (2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) | <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | ○ | | | 維持 | | | | | 低下 | | | |
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 地域公民館=区とみなし、同一地域に各課がばらばらに交付している助成金を整理統合する。 ② 助成率の見直し、助成上限額の見直しなどで公費の負担割合を減らし、助成総額を圧縮する。 ③ 助成の総枠を設け、助成要望区の助成予定総額が枠を超えた場合、抽選などで助成対象区を選択する。 などの改善を検討していきたい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

| | | |
|------------|----|------------------------------------|
| (1) 目的の直結度 | 9 | (直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9) |
| (2) 貢献度 | 12 | (貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12) |